

中央植物園情報

英国の香りのバラ

イングリッシュローズ

38 品種

が見頃を迎えています。

日頃、中央植物園の運営にご協力いただきありがとうございます。

さて、中央植物園では現在、英国の初夏を香りで彩るバラ「イングリッシュローズ」38 品種が見頃を迎えています。ぜひ取材いただき、広くご紹介いただければ幸いです。

イングリッシュローズとは

- イギリスの育種家・デビッド・オースチン氏が1960年代から育成しているバラ品種の総称で、これまでに約200品種が発表されています。
- オールドローズとモダンローズの交配で育成され、前者の特徴である優雅な花形や芳醇な香りと、後者の特徴である多彩な花色をあわせもつのが特徴です。
- 英国だけでなく、世界中で栽培されています。日本でも人気が高く各地で植えられています。

当園での展示

- 入園口からサンライトホールへの通路で、38品種の鉢植えを展示しています。県内でこれだけ多くの品種を一堂に見る機会は少ないと思われます。
- 当園では4回目の展示です（2016年から展示）。
- 見頃は今週末から今月いっぱいと予想されます。
- 各品種に、それぞれの特徴や名の由来、香りなど、詳しい情報を示したパネルをつけ紹介しています。
- 赤や白、ピンク色、オレンジ色などの多様な花色とともに、紅茶やフルーツ、スパイスなどの違う香りを品種ごとにお楽しみいただけます。



令和元年 5 月 17 日
富山県中央植物園
(担当：企画情報課 大原・東)
電話 076-466-4187
FAX 076-465-5923
e-mail botanic@bgtym.org
URL <http://www.bgtym.org>